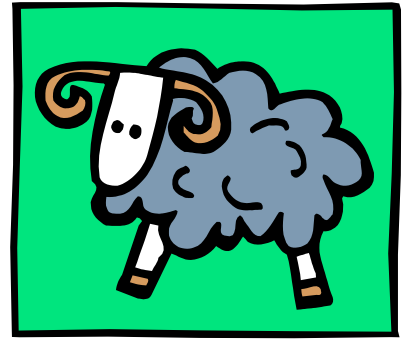


NEWS LETTER



NO.13 2003.1.1

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本
〒658-0016 神戸市東灘区本山中町 4-18-22
☎078-453-5941

明 けましておめでとうございます。1999 年 11 月の開設以来「にほんごひろば岡本」は 4 回目の正月を迎えました。26 名の支援者、2 名の学習者で始まった活動が少しずつ広がりをみせ、

現在では支援者 60 名、学
成長しました。皆さまのご
ここに改めてお礼を申し
アジア諸国を始めとし
ロッパ、アフリカとさまざ
学習者が、日々熱心に日本
このような学習の成果を
いう日頃の思いが、クリス
本語スピーチ大会」の形で



習者 48 名のグループに
支援、ご協力のおかげと
上げます。

て、南北アメリカ、ヨー
まなバックグラウンドの
語と取り組んでいます。
発表できる場があればと
マスパーティーでの「日
実現しました。11 名の出

場者は、原稿作成から音読練習、暗誦練習と、支援者との息もぴったり、それぞれ個性溢れる素晴らしい発表をしてくれました。日本語そのものだけではなく、発表者の考え方や人柄がよく表れた中味の濃いものでした。学習者同士には良い刺激となり、支援者には考えさせられるところの多い「スピーチ大会」となりました。この成果が今後の日本語学習と学習支援におおいに役立つことと思います。

3 年の間には、学習者の身边に色々な変化がありました。

勉強や仕事といった来日の目的を果たして帰国した人、日本語の能力を生かしてキャリアアップした人、国際結婚の壁を克服し地域で逞しく生活している人など「にほんごひろば岡本」を巣立った人たちの顔が思い出とともによみがえります。

支援者の方にも色々な変化がもたらされました。学習支援をとおして日本語の面白さに目覚め大学などに進学した人、日本語教師として国内外で活躍している人、学習者の母国語を学び始めた人、日本の伝統文化の素晴らしさを再発見しチャレンジする人、支援活動の幅を広げようと研鑽を積む人などなど。ひろばでの活動がひとつのきっかけとなり、それぞれのやり方で、個々人がその世界を大きく広げているように感じられます。

クリスマスパーティーでは久しぶりに懐かしい人たちと再会できました。ふらりとひろばに立ち寄ってくれる人もあります。「にほんごひろば岡本」が、誰でも、いつでも気軽に帰って来られる場でありたいと願っています。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(西村佳子)

【特集 1】 にほんごひろば岡本 第 1 回スピーチ大会開催！！

2002 年 12 月 22 日、恒例のクリスマス会の中で、初めての「スピーチ大会」が開催されました。11 名の参加者はみんな前もって原稿を用意し、少し緊張ぎみに発表しました。

3 名の優秀者の発表を紙上で紹介します。これらは原文にかなり忠実に掲載しております。

なお、次号には特別賞のグレッグさんと耿（コウ）さんの原稿も掲載する予定です。

アン サンバクさん

『アンニョンハシンニカ！言葉について』

私は韓国から来た安相伯（アン サンバク）と言います。

日本に来て 10 カ月になりますが、来年の 1 月には帰国しなければなりません。

私が日本にいた 10 カ月の間に感じたことはたくさんありますが、その中で言語のことについて話をしたいと思います。

言語というのは自分が考えていることを相手に表現して理解できるようにする手段だだと思います。今私にとって言語というのは必ず超えなければならない山みたいなことだと思います。例えば学校の研究室のゼミがありますが、ゼミというのはお分りの通り自分の研究課題を相手に易しく説明、理解させることなのですがこのことを想像してもらえれば分かってもらえると思います。

より易しく説明し理解してもらうためにはその国の言語を理解しなければなりません。そうするためには、まずその国の文化を理解するが手順であると思います。

韓国と日本の言葉は違いますが、類似言語だと思います。発音がほとんど同じで意味も同じような言葉があります。例えば無料、全部、無視、詐欺、散歩等たくさんあります。しかし同じ様な言葉を違う言い方もあるので、初めて日本語を学ぶ時は難しいかもしれません。

私は日本語を学んでいて発音上の問題がたくさんありました。「つ」と「づ」、「か」と「が」、「づ」と「ず」の違いを発音することが難しかったです。でも日本語と韓国語は語順が同じだったからずい分助かりました。

今後も一生懸命勉強して、日本と韓国の交流に努められたらと思います。

皆さん、Merry Christmas

マン ゼイ
満 喆さん

『京都に旅して』

みなさん、こんにちは。私は満と言います。今年の 3 月に中国から日本に来ました。あっというまに 8 カ月半経ちました。よろしくお願いします。

私は旅行が好きです。よく風景が美しいところに行きます。今まで東京湾、大阪城、奈良の東大寺、すまの水族館、琵琶湖などの名所に行きました。

京都は神戸と違って、古いお寺や町並みがたくさん残っていて、すてきな町です。実は、私、この前からこの町がとても気に入りました。京都の町は、中国の西安をまねてつくられたんだそうです。私は、

ここから京都に親しみを感じました。私は、寒さのなか、京都の嵐山、金閣寺、清水寺などの名所を見に行きました。

まず、世界遺産の京都の金閣寺を見物しました。金閣寺は池の中に建っていました。金閣寺は全部で三層です。上の二層に金箔をはってありました。だから金色をしています。これは金閣寺の名前の由来だと思います。

その後、有名な清水寺の舞台にも上がってみました。巨大な木材で造ったこの舞台は断崖の上に建っています。危なそうですが、実はとても丈夫です。日本では何か思い切ったことをする時、「清水の舞台から飛び降りるつもりで」と言うことがあるそうです。この高い舞台から飛び降りるには大きな勇気がいります。私は、日本語を勉強する時、清水寺の舞台から飛び降りるほどの勇気が必要でした。なぜなら日本語を一所懸命勉強した経験はあまりなかったからです。だから今、日本語はまだ下手です。これからもがんばります。

今回の京都の旅は、私に深い印象を残しています。日本の伝統文化、伝統建築は本当に素晴らしいです。来年、桜が咲く時に、もう一度京都に行きたいんです。みなさん、もし時間があれば、ぜひ家族が友達と一緒に見に行きませんか。

渡辺 ジーナさん

『沖縄旅行』

私はジーナ渡辺です。私は主人とふたりで沖縄に行きました。私は沖縄に行くのははじめてでした。本当は北海道にかにを食べに行くよていでしたが、私はさむいのがきらいなので、沖縄になりました。

沖縄は秋なのにあたたかくて、海がすごくきれいでしぜんが多くて、とてもきれいでフィリピンとちよっとにていました。

いちばん楽しかったのは今年の 11 月 1 日にオープンしたばかりの「沖縄ちゅら海水族館」です。ここはせかいいちおおきなすいそうがあって、今までみたことないぐらいでかいジンベイザメがいました。ジンベイザメだけでなく、エイもでかいしカメもでかいし、あとイカもでかかったです。

人間がとしをとったのとおなじように、でかいイカもつかれているみたいでした。

水族館のほかにもはなをみたり、ダチョウにえさをあげたりしました。とてもこわかったけど、かわいかったです。たくさんみたのでつかれたけど、とてもおもしろかったです。にはくみっかはみじかかったです。もしやすみがとれたらもっとながいあいだあそびにいきたいです。こんどはみんなといきたいです。

スピーチ大会優秀賞の顔ぶれ

→写真左から：アンさん、渡辺さん、満さん

なお、スピーチ大会に参加してくださった他の 8 名の方は 7 ページのクリスマスパーティーの写真集のところで紹介しています。あわせてごらんください。



学習者紹介

現在、にほんごひろば岡本「御影教室」は日系ブラジル人を対象に御影公会堂の一室を借りて、毎週日曜日の午後7時から9時まで、学習者6名支援者6名で活動しています。

今回の学習者紹介は「御影教室」の岡崎幸一さんマユミさんご夫妻に登場していただきます。

岡崎幸一さん 男性（ブラジル出身）

夢多い好青年

2000年7月、仕事の為にブラジルから日本へ来ました。名前を見て分かるように、日本人2世です。このため子供の時から日本語に接する機会があり大体の日常会話はゆっくりであれば聞くことも話すこともできます。でも、文字を読んだり



書いたりすることは得意ではありません。仕事で文字を書く必要もある様ですが、1字1字毛筆で書くように丁寧に書いています。これからの日本語学習の課題は、話す・書くともに「スピード」をつけることです。

幸一くんは、20代半ばと若いのですが、すでに奥さんがいます。「奥さん」といえば私はぬか味噌臭い家庭の主婦を思い浮かべますが、幸一くんの奥さんはそんなことを思わせないくらい若くて可愛い女性です。ブラジルにいた時からの知り

合いで、親同士が認めた仲なのだそうです。二人して働いてお金を貯め、ブラジルに帰って事業を興すのが夢です。

それまではひたすら辛抱で、大好きなバイクにも手を出しません。私の乗っているバイクを見ては羨ましがっています。せめてバイクぐらいとも思いましたが、慣れない環境で事故でもあったら大変と勧められませんでした。二人仲良く辛抱して、無事大望が果たせるよう、私も一所懸命応援したいと思っています。（四本 裕）

マユミさん 女性（ブラジル出身）

辞書とジェスチャーで頑張っています

私が昨年11月から担当することになったマユミさんは、2年ほど前にブラジルから日本に来て、現在お弁当を作る仕事をしています。「セブンイレブン」で並べられているお弁当などは彼女たちが作っているですよ！みなさん、残さず感謝しながら食べて下さいね。！！（笑）

彼女はブラジルで少しでも日本語を学習した



ことがあり、ひらがなは読むことができ、会話も少しわかるといった状況です。毎週日曜日、仕事が終わってから日本語の勉強に来ていて、疲れているのではないかなと少し心配になることもありますが、とても勉強熱心で、本人も「仕事が忙しくて時間はないけど、勉強が好きだ」と言っています。その言葉に、勉強嫌いな私は強く心を打

たれたのを憶えています・・・(涙)彼女の言葉にこたえようと、私もしっかりがんばっていいと思っています。とはいっても、これまで3回しか学習をしていないので、まだまだ始まったばかりですが・・・

今、私たちは辞書とジェスチャーと絵を使って会話を成り立たせている、といった感じです。これからいろいろな言葉を覚えていって、辞書なくても余裕で会話ができるくらいになることを目標に、学習していけたらと思います。(ちなみに、私もポルトガル語を勉強しようかしらと計画中)

ガンバリ屋のマユミさんなので、きっとメキメキと上達してってくれるでしょう。負けないように私もしっかり支援していきたいと思います。

(原田まどか)

ちょっと報告

2002 年 BBQ パーティー

今年も去年と同じく、芦屋奥池の遊びのひろば



で10月14日、パーティーを行いました。

学習者、支援者、それぞれの家族、友だちも大勢参加しました。食べ物を焼くコンロは2箇所に設け、額田さんと嶋内さんに専ら焼き方に徹してもらいました。二人とも手際がとてもよく、普段の私生活を垣間見たような気がしました。

いつもあまり会わない学習者や支援者の人た

ちともいろいろなお話ができ有意義なそして楽しいパーティーでした。



当日のベストショット



いかがでしょうか？私たち！

お知らせ：7ページで紹介しています折り紙(ビショップ帽と飛行機)の作り方をお知りになりたい方は西村までご連絡ください。また、今までのNews Letter やクリスマスパーティーなどの写真はホームページにのせてあります。

アドレスは、

<http://www.kabto-yama.ac.jp/hiroba/>

です。

支 援 者 の ひ ろ ば

イギリスでヴァネッサさんと再会

古家 峰子

昨年 10 月末からスコットランドとイングランド（スコットランド人は「イギリス」の中へひっくるめて入れられるのは嫌らしい）へ駆け足で行ってきた。

長男が留学しているエジンバラを訪れたかったのと、二人の友人に会うために。

一人は 2001 年から 2002 年春まで「ひろば」で学んでいたヴァネッサさん。彼女には英会話を習っていたので、仲の良い親子か姉妹のような気持ちで今もお付き合いが続いている。

今はイギリスの中央部にあるリーズ大学でコンピュータの先生をしておられる。リーズの中心街からバスで 20 分の落ち着いた住宅街の中、教会のとなりのフラットに引っ越したばかりだった。

リーズに着いた夜、素敵なレストランへ案内してくださった。山のように盛られたカラス貝の前菜と大きなお盆ほどもある 1 人前のピザに二人して挑戦したが、残してしまった。とにかく、この国の食事の量には辟易した。

たまたまハロウィーンの夜だったので、魔女の扮装をしたきれいな女性や、こわーいお面をつけた子供たちの一団に出会った。子供の後ろには必ず親がついて歩いていた。イギリスでは子供と犬は行儀がいいので感心した。

彼女は就任ほやほやなので、仕事の邪魔にならないように、翌朝、駅まで送ってもらって、私は次の目的地、南西部のエクセターに向かった。そこでは彼女のお母さんが待っていてくださった。住宅雑誌に載っているような素晴らしいお宅に二晩泊めてもらって、450 年前からのパブにも連れて行っていただいた。

日本に帰る日、ヒースロー空港にヴァネッサもかけつけて下さり、彼女のお気に入りの「スターバックス」で最後のひと時を過ごした。

いよいよお別れの瞬間、「来年イースターに日本で会おうね」と言って顔を見たら「日本が恋しい！」と言って目に涙をいっぱい浮かべていた。

彼女は本当に日本が好きなんだと改めて感じた。通り一遍の興味ではなく、彼女の前世は日本人だったかも.....と思うくらい日本に心を寄せているヴァネッサだった。

来春、桜の頃待っていますよ。

〔写真上：左から古家さん、ヴァネッサさん、ヴァネッサさんのお母さん〕



【特集 2】クリスマス・パーティー 写真集

〔岡本教室編〕 2002 年のクリスマス会は 12 月 22 日、愛甲法科専門学校で開かれました。参加者は支援者、学習者やその家族、友達も入れて 66 名でした。現在は「ひろば」には来ていないけどたまたま日本に来ていた人やその人の先生だった支援者も参加してくださり、とても賑やかで楽しいひと時を過ごせたと思います。例年のように食べ物、飲み物は支援者の方々が持ち寄って下さり、みんな十分にお腹を満たせたようでした。恒例のバザーも皆さんの協力で完売に近い売上でした。今年はビンゴゲームに加え、嶋内さんの指導のもとに折り紙に挑戦しました。今回は「ビンヨップ帽子」と「飛行機」を折りました。「飛行機」はみんな子供時代に帰った



ように、それぞれ自分流に折り、いかに遠くまで飛ばせるか競ったりしていました。2002 年のクリスマス会ではいろいろな新しい催し物がありましたが、なかでも第 1 回目の学習者のスピーチ大会を行った事を特記したいと思います。申し込みは 13 名でしたが、風邪を引いたり、その他の理由で、結局 11 名の学習者が発表しました。みんな前もって原稿を書き、それを先生に校正してもらったりして臨みました。パーティー



の雰囲気の中でのスピーチ大会でしたが、それでも学習者は少し緊張した面持ちで発表していました。3名の優秀者を選びましたが、その他の発表者もそれぞれ個性のある発表で、審査委員長の下田先生も講評の中で、みんなにそれぞれの賞を贈りたいと述べていらっしゃいました。初めての試みの折り紙やスピーチ大会も無事終わり、午後 3 時 30 分頃、パーティーはお開きとなりました。皆さんご協力、本当にありがとうございました。（佐古田幹子）

スピーチ大会の発表者の顔ぶれ紹介



写真上左から：「あなたは本当は関西人で賞」のグレッグさん，「似て非なる中国語と日本語」の耿さん，「友情に感謝」大学院に合格のカンさん，写真下：「ガンダム少年」だったスティーヴンさん



写真上左から：「ホストファミリーの温かい応援に感謝している」メイさん，
「宮崎アニメ」の大ファンの岩坪さん，「先入観を捨てたら本当の日本がみえた」のキムさん，写真下：「和食大好き」のクリストフさん

〔御影教室編〕

岡本教室に引き続き御影教室でもクリスマス会が行われ、学習者 4 名と支援者 6 名が参加しました。

本物の竹の皮に包んだ「おむすび」を味わった後、夢中でゲームに興じ、プレゼント交換をして心に残る楽しいひとときを過ごしました。

次のパーティーは是非合同で行いたいですね。(Y・N)

